

現代短歌分類辭典

第九十四卷

津 端 亨 編纂

津 端 亨 編 纂

現代短歌分類辞典

第九十四卷

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

現代短歌分類辭典

94

昭和五十九年二月廿日発行 定価二、〇〇〇円

著者発行
兼印刷者

津 端

亨

〒111

東京都台東区鳥越一―十一―八

発行所

現代短歌分類辭典刊行所
代表者 津 端 亨

振替 東京 三―九三一―四
電話 〇三―八五一―九八六九

目

次

(第九十四卷)

飯(いひ)	六二四	一	いひーあひ	一	七九
いひ(言ひ) 名詞	八	三	いひーあひーし	二	八〇
いひ(動詞) 連用形	六	三	いひーあひーしーが	一	八〇
いひ(動詞)	二六九	五	いひーあひーしーごと	一	八〇
萎 斐	一	七	いひーあひしーて	一	八〇
揖 斐	六	六	いひーあひしーのみ	一	八〇
いひーあうーて	一	六	いひーあひーたれーば	一	八二
いひーあかーぬ	一	六	いひーあひーて	二	八二
いひーあきーにーけり	一	六	いひーあひーにーける	一	八二
いひーあたりーけむ	一	六	いひあふ(終止形)	一五	八三
いひーあてーし	一	六	いひあふ(連体形)	一〇	八三
いひーあてーて	一	六	いひーあへ	一	八四
いひあと	一	六	いひーあへーど	二	八四
いひーあはーぬ	一	六	いひーあへーなくに	一	八五

いひーあへーぬ
 いひーあへーば
 いひーあへーむ
 いひーあへーり
 いひーあへーりけり
 いひーあへーる
 いひーあらそはーじ
 いひーあらそはーず
 いひあらそい
 いひーあらそひーて
 いひーあらそふ
 いひーあらそへーり
 いひーあらそへーる
 いひーあらはせーぬ
 いひーありく
 いひーあるく
 いひーいだしーけり

一 一 一 一 一 一 三 一 二 一 一 七 二 三 一 二 五

八九 八九 八九 八八 八八 八八 八八 八八 八七 八七 八七 八六 八六 八六 八六 八五 八五

いひーいだしーつつ
 いひーいだす
 いひーいだせーし
 いひーいず
 いひーいづな
 いひーいづる
 いひーいづるはーや
 いひーいづるーべく
 いひーいづるーらむ
 いひーいづれ
 いひーいで
 いひーいでがたき
 いひーいでがたく
 いひーいでがたし
 いひーいでざりし
 いひーいでし
 いひーいでず

二 一三 一 一 一 二 一 一 一 一 一 三 四三 一 六二 一 一 一

一〇一 一〇〇 一〇〇 一〇〇 一〇〇 九九 九九 九九 九九 九九 九八 九五 九五 九〇 八九 八九 八九

いひ—いで—たまは—ず
 いひ—いで—たまふ
 いひ—いで—つ
 いひ—いで—て
 いひ—いで—に—けり
 いひ—いで—ぬ
 いひ—いで—む—と
 いひ—いで—ぬ—べき
 いひ—いで—む
 いひ—いで—も—せ—ず
 いひ—いで—ん
 いひ—いひ
 いひ—いひ—し
 いひ—いひ—て
 いひ—いふ
 いひ—いれ—し
 いひ—いれ—て

一 一 一 六 五 七 一 一 二 二 一 二 五 四 二 一 一

二〇 二〇 二〇 一九 一九 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八 一八

いひ—う—べし
 いひ—うる
 いひ—うる—ごとく
 いひ—うる—ごとく
 いひ—え—ざり—けり
 いひ—え—ざり—し
 いひ—え—ざる
 いひ—え—し
 いひ—え—し—が
 いひ—え—ず
 いひ—え—たら—ば
 いひ—え—たり
 いひ—え—たる
 いひ—え—ぬ
 いひ—え—ば
 いひ—え—む
 いひ—え—む
 いひ—え—む—ぞ

一 一 二 八 一 一 一 一〇 三 三 二 一 一 一 一 八 一

二六 二五 二五 二四 二四 二四 二四 二三 二三 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二 二二

いひ—え—む—や
 いひ—え—ん—や
 いひ—おか—で
 いひ—おき—し
 いひ—おき—て
 いひ—おき—な—む
 いひ—おく
 いひ—おく—らむ
 いひ—おくる
 いひ—おくれ—けり
 いひ—おけ—る
 いひ—おこさ—ね—ど
 いひ—おこす
 いひ—おこせ—けり
 いひ—おこせ—つる
 いひ—おこせ—とふ
 いひ—おほせ—たる

二 一 一 一 七 一 一 一 二 一 二 一 五 二 一 二

二六 二六 二六 二六 二六 二七 二七 二七 二八 二八 二八 二八 二七 二七 二七 二七

いひ—おほせ—む
 いひ—およぼさ—ず
 いひ—および—けり
 いひ—およぶ
 いひ—がかり
 いひ—かく
 いひ—かくる
 いひ—かけ—た
 いひ—かけ—つ
 いひ—かけ—て
 いひ—かけ—に—けり
 いひ—かけ—ぬ
 いひ—かけ—られ—し
 いひ—かけ—む
 いひ—かける
 いひ—かしぎめ
 言ひ方

一 一 一 一 二 二 九 一 一 一 六 一 三 一 一 一

一三〇 一三〇 一三〇 一三〇 一三〇 一二二 一二二 一二二 一二三 一二三 一二三 一二三 一二二 一二二 一二二 一二二

いひ—しろふ
いひ—し—を
いひ—し—を—ぞ
いひ—すかし
いひ—すぎ
いひ—すぎ—し
いひ—すぎ—て
いひ—すぎ—な—む
いひ—すぎ—ぬ
いひ—すごし—たる
いひ—すつる
いひ—すて
いひ—すて—し
いひ—すて—て
いひ—すて—む
いひ—そ
いひ—そくれ—て

いひ―そ―ね
いひ―そびれ
いひ―そびれ―たり
いひ―そびれ―たる
いひ―そふ
いひ―そふる
いひ―そへ―し
いひ―そへ―たまふ
いひ―そへ―て
いひ―そへ―に―けむ
いひ―そへ―られ―て
いひ―そへる
いひ―そむる
いひそめ―し
いひ―そめ―たらし
いひ―そめ―に―けり
いひ―そめ―に―けむ

いひーそめーぬ	二	二七三	いひたげな	二	二八一
いひーそらしーぬ	一	二七三	いひたげなり	一	二八一
いひーそれーし	一	二七三	いひたげなる	二	二八一
飯 田	三	二七三	いひたげに	五	二八一
いひーたい	六	二七四	いたげの	一	二八二
いいたいさんまい	一	二七四	いひーださーされーど	一	二八二
いひーたがへーたる	一	二七四	いたげーや	一	二八二
いひーたがりーき	一	二七四	いひーださーぬ	一	二八二
いひーたかりーし	二	二七五	いひーださーむ	一	二八二
いひーたかりーつらーむ	二	二七五	いひーたし	五	二八三
いひーたがる	一	二七五	いひーだしーて	二	二八三
いひーたかるーべし	一	二七五	いひーだしーにーけり	一	二八三
飯炊き	一	二七五	いひーたしーぬ	一	二八三
いひーたさ	三六	二七六	いひだす	一	二八四
いひーたく	一三	二七九	いひだす	四	二八四
飯田君夫妻	一	二八〇	いひーだせーば	一	二八四
いひたげ	三	二八〇	いひーだせーりーけり	一	二八四

いひーたらーず
いひーたらーむ
いひーたり
いひーたりーき
いひーたりーし
いひーたりーて
いひーたる(連体形)
いひーたる(終止形)
いひーたるーごとし
いひーたるーならーむ
いひーたるーのみーに
いひーたるーは
いひーたるーも
いひーたるーらーき
いひーたれ
いひーたれーど
いひーたれーども

一 三 一 一 一 六 一 二 一 七 五 一 一 三 九 三 一
三三 三三 三三 三三 三三 三二 三二 三二 三二 三二 三〇六 三〇六 三〇三 三〇三 二九八

いひーたれーば
飯茶碗
いひーちらす
いひーつ
いびつ(歪)
飯櫃
いひーつがーざらーむ
いひーつがーしめーむ
いひーつがーば
いひーつがーむ
飯塚山
いひーつかれ
いひーつぎ
いひーつぎーきーける
いひーつきーきたる
いひーつきーける
いひーつきーし

三 一 一 一 五 一 一 三 一 一 一 一 二〇 二六 二 二 四
三三 三一 三三 三三 三三 三〇 三〇 三〇 三九 三九 三九 三八 三二七 三二五 三二四 三二四